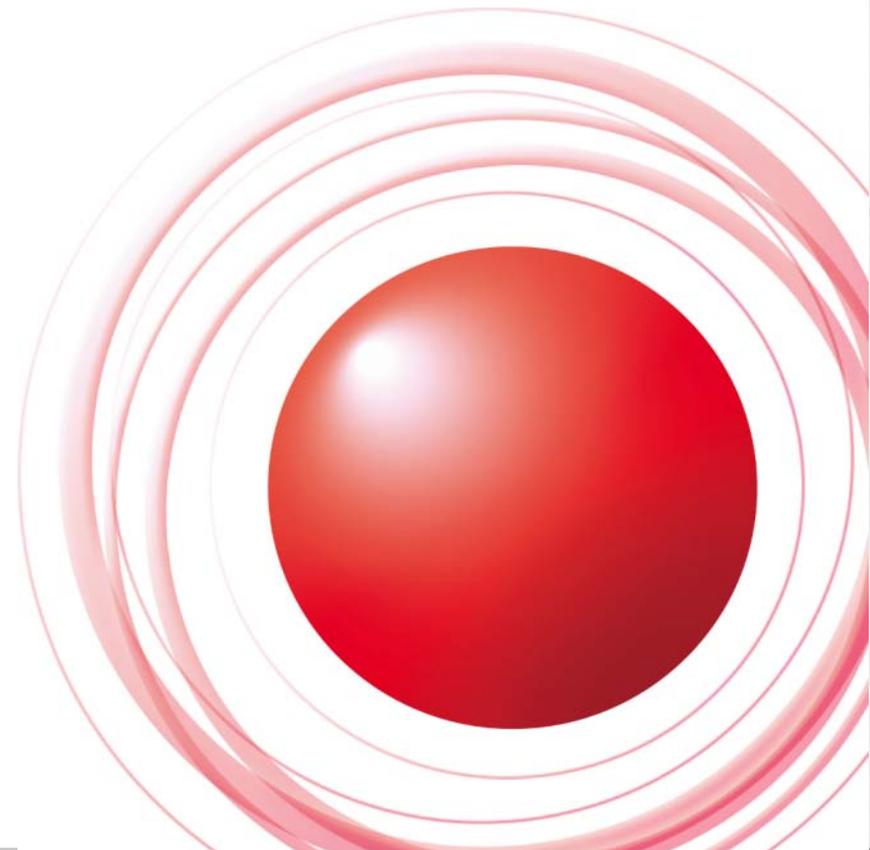


2014年3月期 第2四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード：3774）
2013年11月8日（金）

Ongoing Innovation



アジェンダ

I . 2014年3月期 第2四半期総括

II . 2014年3月期 第2四半期連結業績

III . ご参考資料

I. 2014年3月期 第2四半期連結累計期間 総括

＜＜ 2014年3月期 第2四半期連結累計期間 実績 ＞＞

・営業収益(売上高)	54,397百万円	(前年同期比 6.4%増)
・売上総利益	10,430百万円	(前年同期比 2.8%増)
・営業利益	3,009百万円	(前年同期比 7.8%減)
・税引前四半期純利益	3,348百万円	(前年同期比 5.4%増)
・当社株主に帰属する四半期純利益	2,205百万円	(前年同期比 9.9%増)

◆強いシステム投資需要、引き続き良好な市場環境

- システムインテグレーション売上高: **前上期比 +15.5億円・9.0%増**
 - ✓ システム構築及び機器販売受注残高 **前上期比 +14.6億円・30.4%増**
 - ✓ 景気回復に伴い企業の積極的なIT投資続く、下期に大きく売上計上の見込み
- ネットワークサービス売上高: **前上期比 +13.5億円・4.2%増**
 - ✓ 法人接続: Gbps超契約数継続増加、期初特有の減額影響ありつつも下期以降回復見込み
 - ✓ 個人接続: LTEサービス“IIJmio”好調にてYoY増収復調
- クラウド: **上期売上47億円**、IBM i (AS400) のクラウド提供開始等引き続きサービスラインアップ拡充

◆事業規模拡大に向け人員リソース拡大中

- 2013/3末比 +195名、今期人員増加計画 +250名強
- 人件関連費: 前上期比 +8.7億円、 オフィス関連費: 前上期比 +3.0億円

◆成長戦略にて費用増加の一方、売上の下期集中傾向等にて前上期比営業利益2.5億円減

- スtock売上にてSNSゲーム・通信関連の一部大口顧客からの個別減収影響あり、下期以降吸収見込み
- 国際事業立ち上げ期における先行的費用にて前上期比 Δ 1.5億円影響

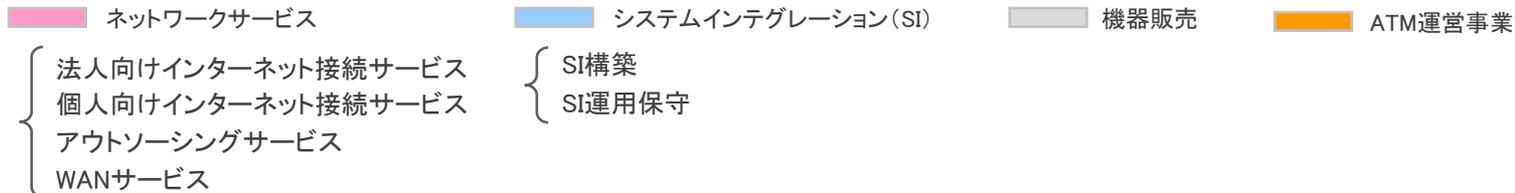
◆下期及び来年以降に向け継続事業拡大、通期見通しに変更なし

Ⅱ-1. 2014年3月期 第2四半期連結累計期間 実績サマリー

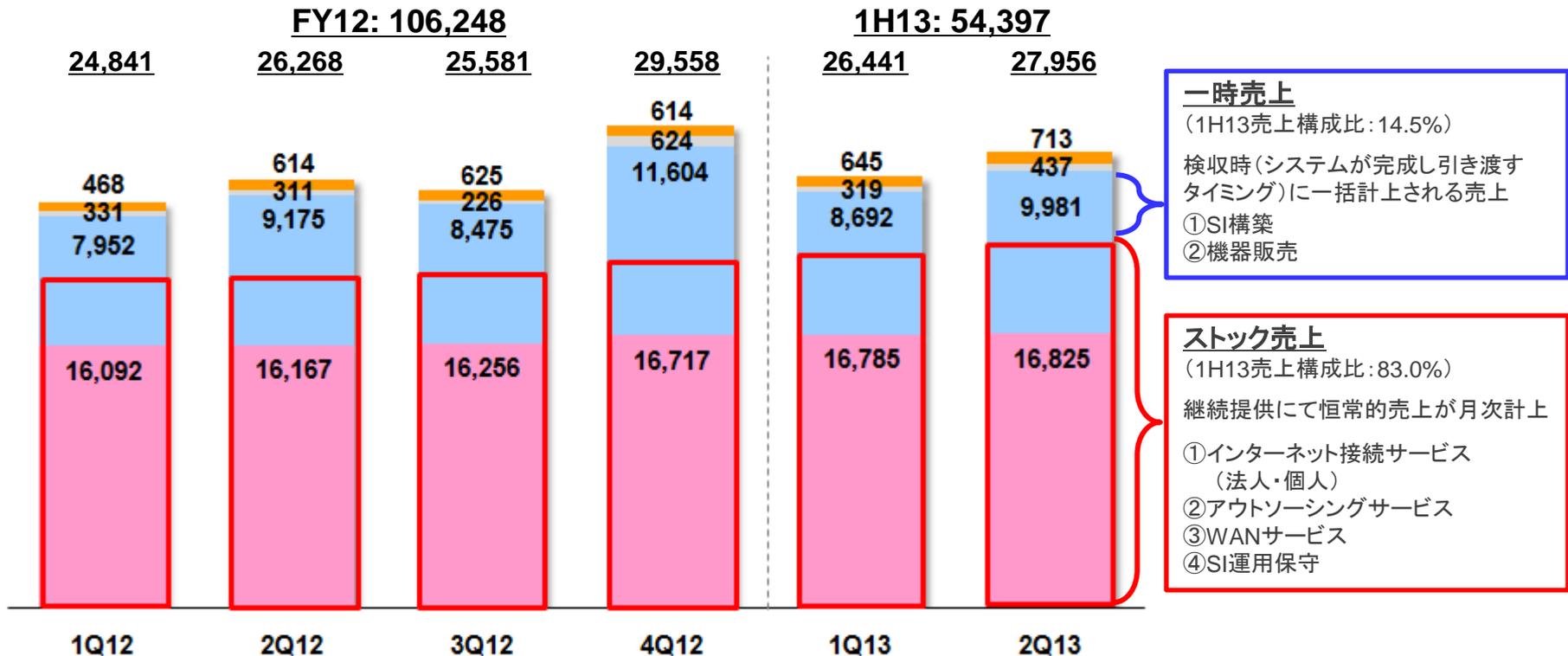
(単位: 億円)

	売上高比 1H13 (13/4~13/9)	売上高比 1H12 (12/4~12/9)	前年同期比 増減	売上高比 FY13上期 公表見通し (13/4~13/9)	対上期公表 見通し比
営業収益 (売上高)	544.0	511.1	+6.4%	545.0	△0.2%
売上原価	80.8% 439.7	80.1% 409.6	+7.3%	—	—
売上総利益	19.2% 104.3	19.9% 101.5	+2.8%	—	—
販売管理費等	13.6% 74.2	13.5% 68.9	+7.8%	—	—
営業利益	5.5% 30.1	6.4% 32.6	△7.8%	6.2% 34.0	△11.5%
税引前 四半期純利益	6.2% 33.5	6.2% 31.8	+5.4%	5.9% 32.0	+4.6%
当社株主に帰属する 四半期純利益	4.1% 22.0	3.9% 20.1	+9.9%	3.7% 20.0	+10.2%

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移



単位: 百万円

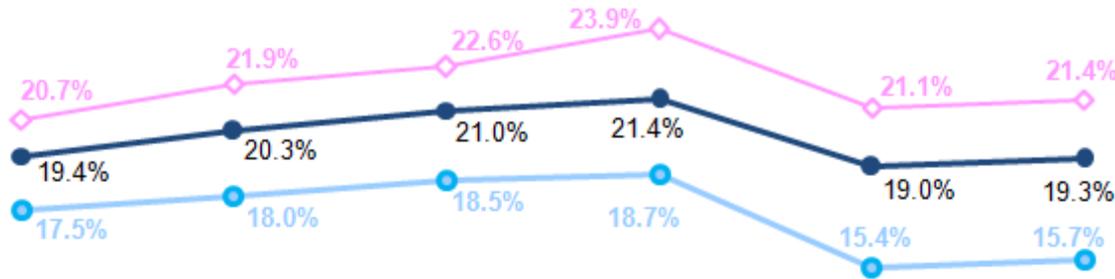


- ◆1H13 ネットワークサービス: 33,611百万円(1H12比 +4.2%)
- ◆1H13 システムインテグレーション: 18,673百万円(1H12比 +9.0%)
- ◆1H13 機器販売: 755百万円(1H12比 + 17.7%)
- ◆1H13 ATM運営事業: 1,358百万円(1H12比 +25.5%)
- ◆1H13 ストック売上: 45,132百万円(1H12比 + 5.7%)
- ◆1H13 一時売上: 7,907百万円(1H12比 + 7.8%)

Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移

売上原価 ネットワークサービス システムインテグレーション(SI) 機器販売 ATM運営事業
 売上総利益率 ネットワークサービス システムインテグレーション(SI) 全体売上総利益率

単位: 百万円



FY12: 84,395

1H13: 43,967

20,022

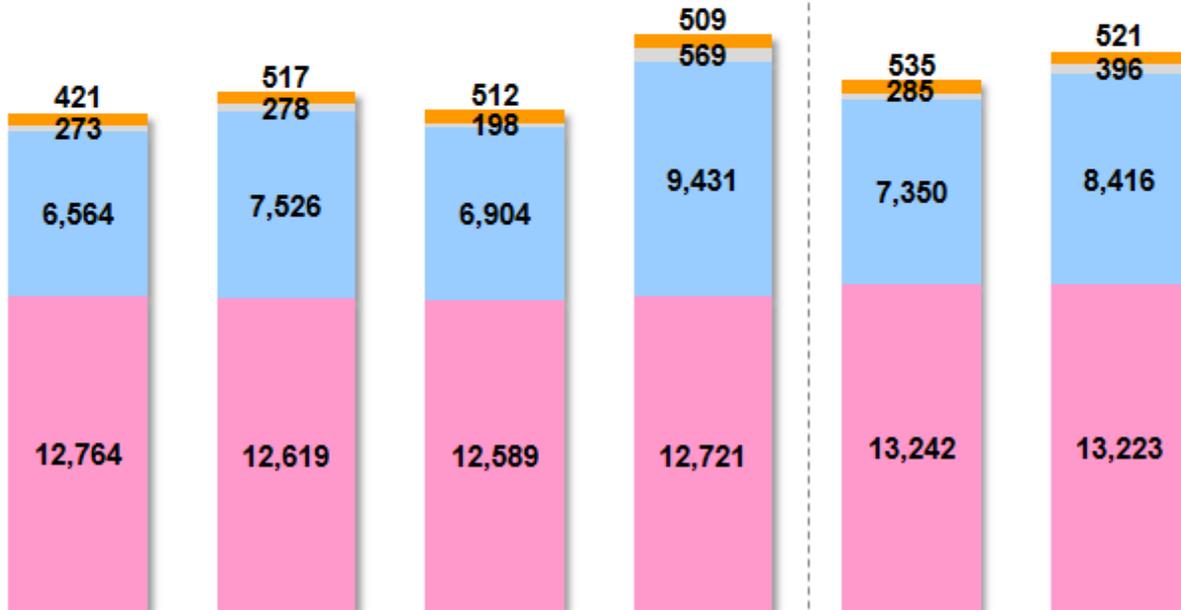
20,939

20,204

23,230

21,411

22,556



1H13 売上総利益: 10,430百万円
 (1H12比 +283百万円・+2.8%)
1H13 売上総利益率: 19.2%
 (1H12比 Δ0.7ポイント)

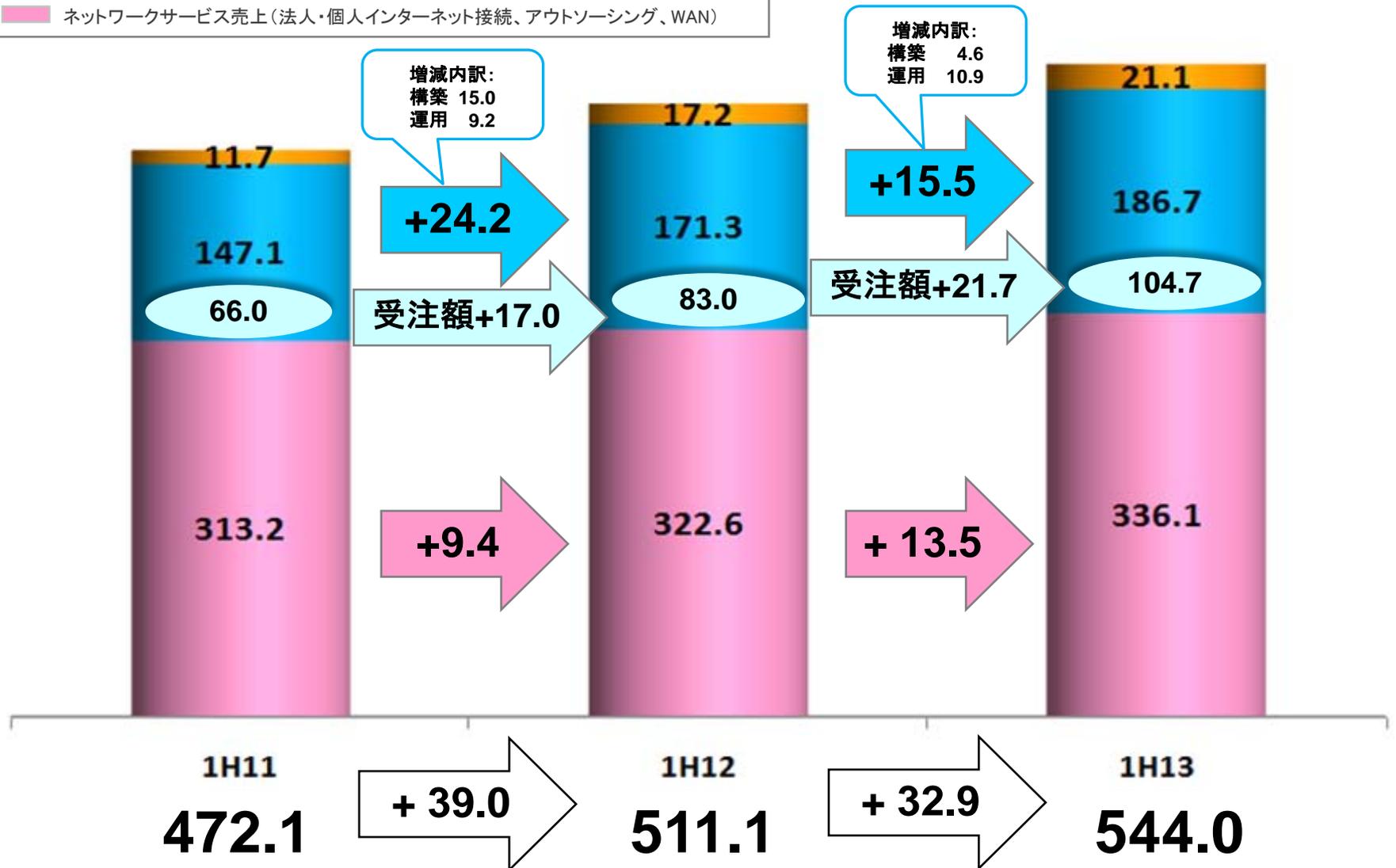
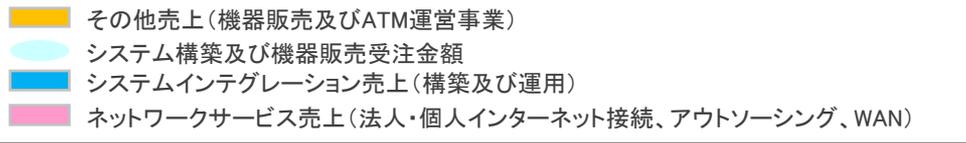
◆1H13 ネットワークサービス
 売上総利益: 7,146百万円
 (1H12比 +270百万円・+3.9%)
 売上総利益率: 21.3%
 (1H12比 Δ0.1ポイント)

◆1H13 システムインテグレーション
 売上総利益: 2,908百万円
 (1H12比 Δ129百万円・Δ4.3%)
 売上総利益率: 15.6%
 (1H12比 Δ2.2ポイント)

◆1H13 ATM運営事業
 売上総利益: 302百万円
 (1H12比 +158百万円)

Ⅱ-4. 上半期売上高の推移

単位: 億円

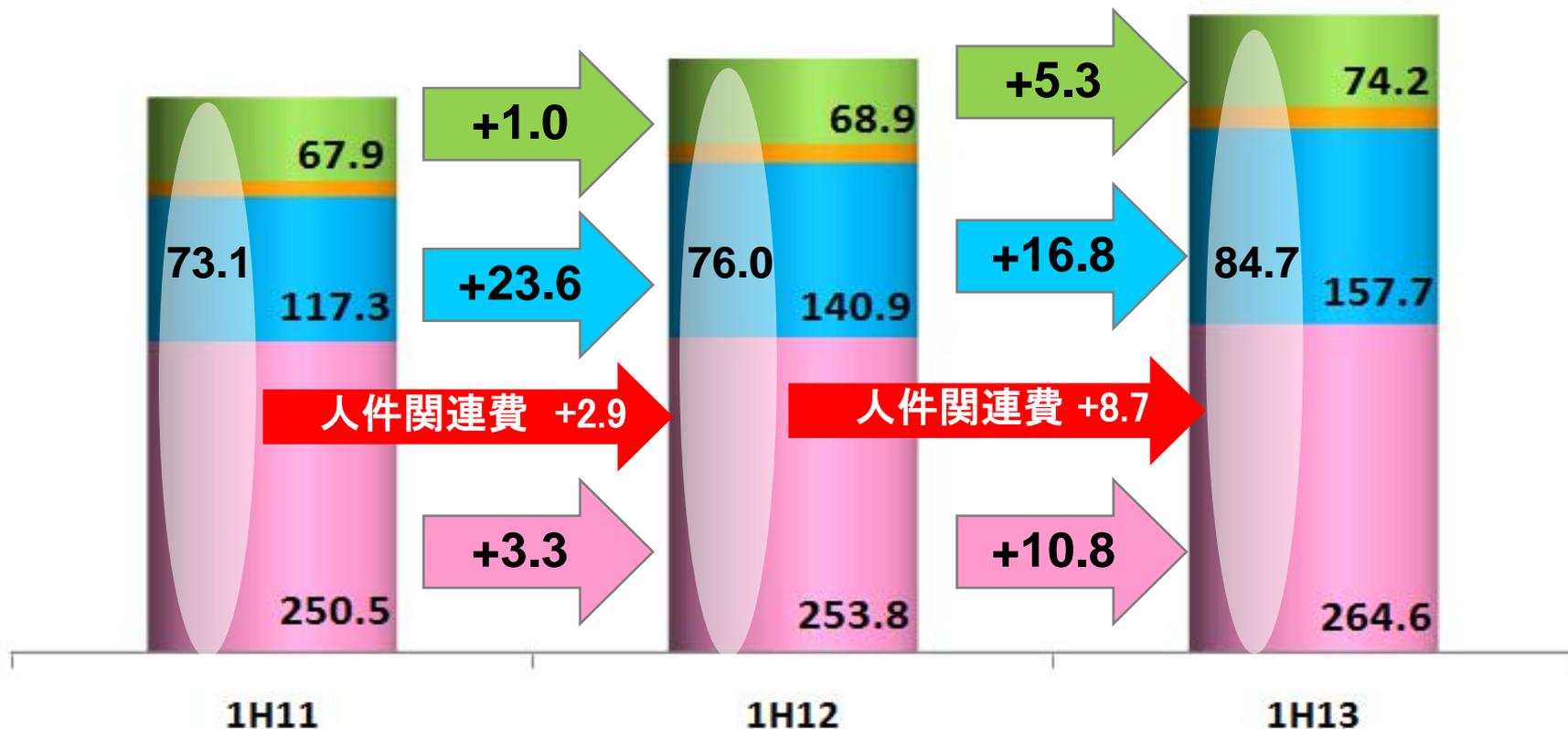


Ⅱ-4. 上半期営業費用及び営業利益の推移



単位: 億円

営業費用



営業利益

24.5

+8.1

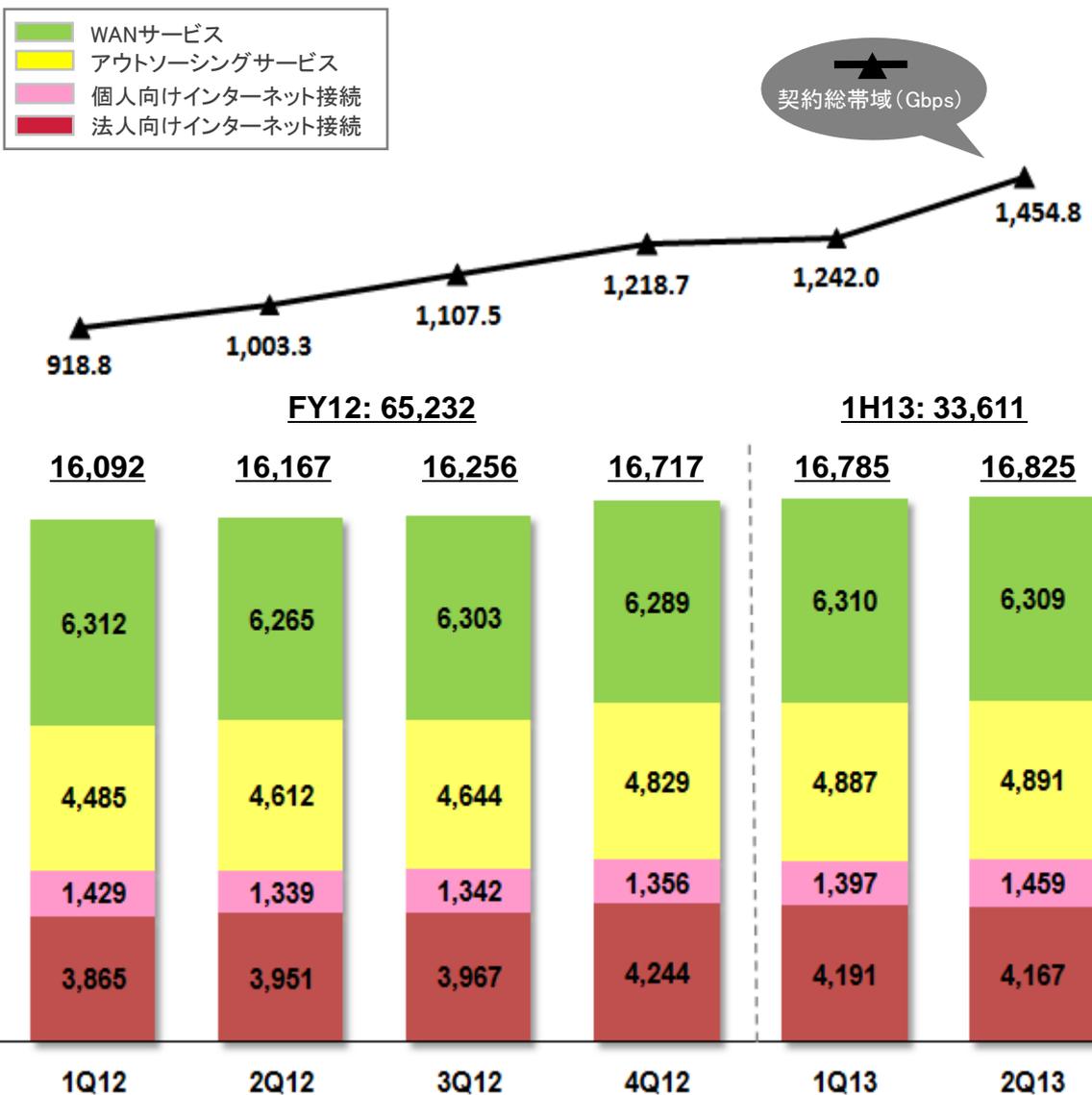
32.6

△2.5

30.1

Ⅱ-5. ネットワークサービス ① 売上の推移

単位: 百万円



◆ 2Q13 法人向けインターネット接続:

- 2Q12比 +216百万円・+5.5%
- 1Q13比 △24百万円・△0.6%
- 期初特有の大口契約一部見直し影響、会社統合の影響等あり、1Q13比若干減収
- 広帯域利用の傾向堅調
- 2Q13末 Gbps超契約件数: 255件 (1Q13末 235件、2Q12末 164件)

◆ 2Q13 個人向けインターネット接続:

- 2Q12比 +120百万円・+8.9%
- 1Q13比 +61百万円・+4.4%
- IJmio/LTEサービス牽引、契約純増数順調推移: 22,000件(2Q13)、18,700件(1Q13)

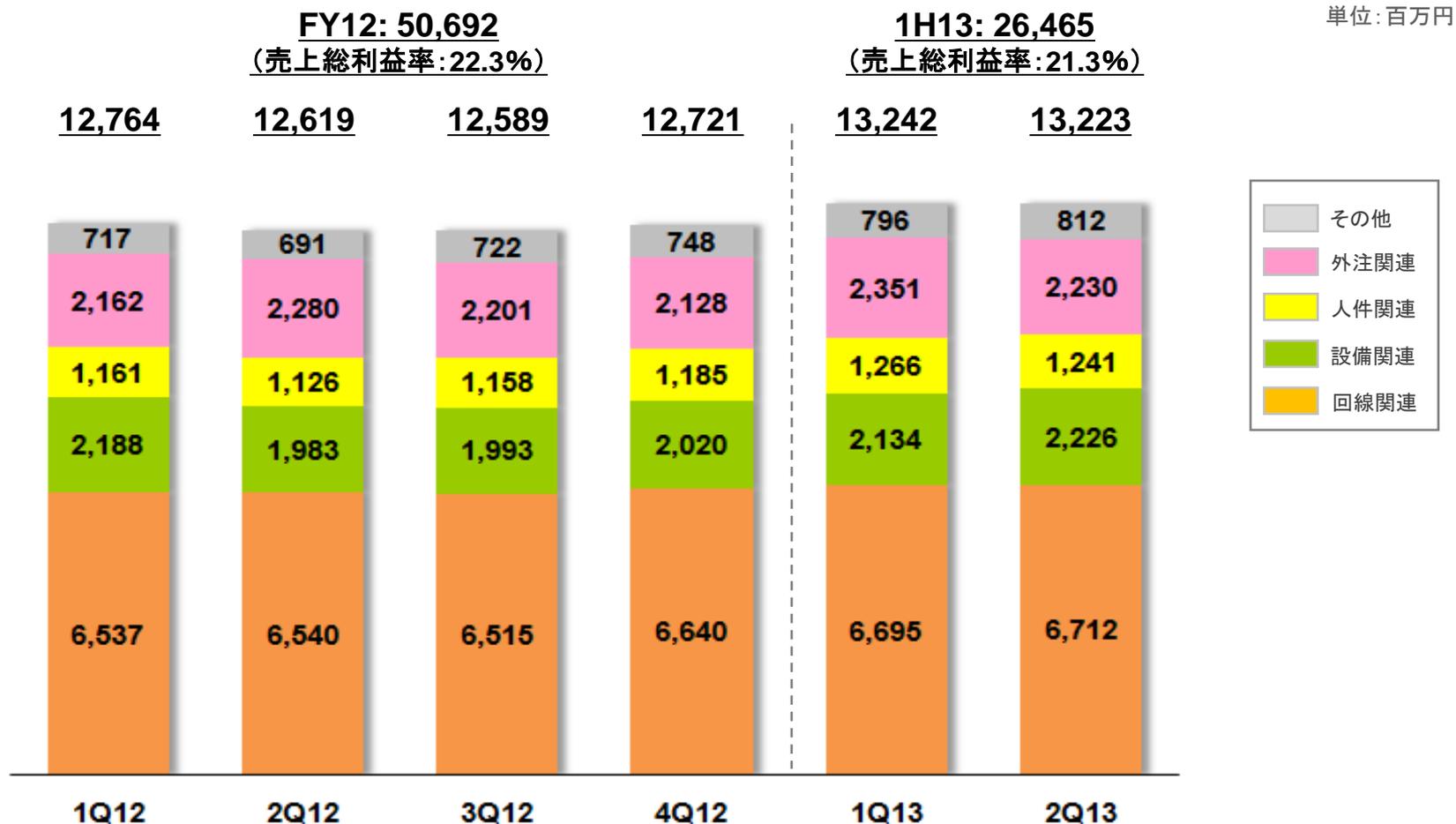
◆ 2Q13 アウトソーシングサービス:

- 2Q12比 +279百万円・+6.0%
- 1Q13比 +4百万円・+0.1%
- クラウド、データセンター関連サービス等にて継続増収
- 一部大口SNSゲーム顧客の個別減収あり
- メール及びWebのゲートウェイセキュリティサービス国内シェアNo.1 (ITR社「ITR Market View: セキュリティ市場2013」)

◆ 2Q13 WANサービス:

- 2Q12比 +44百万円・+0.7%
- 1Q13比 △1百万円・△0.0%

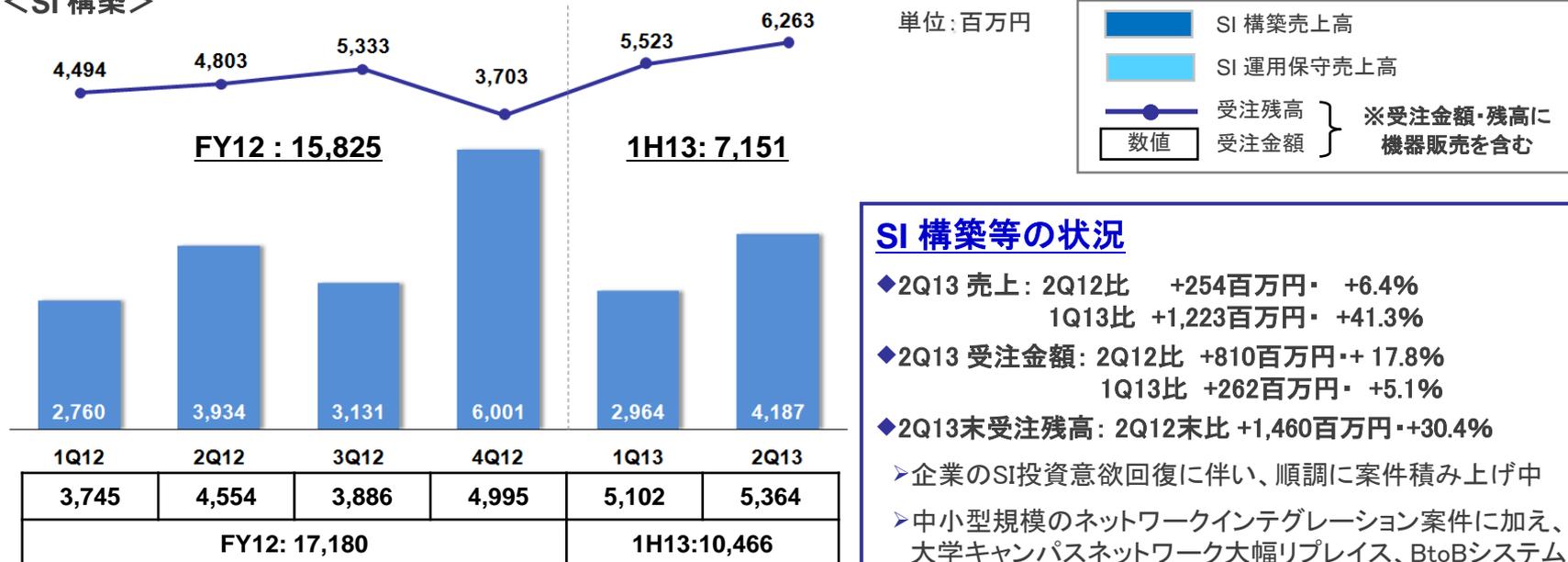
Ⅱ-5. ネットワークサービス ② 原価の推移



- ◆2Q13 ネットワークサービス原価: 2Q12比 + 604百万円・+ 4.8%、1Q13比 △19百万円・△ 0.1%
 ▶ネットワークを継続増強しつつ、回線関連費用等はスケールメリットを享受し安定推移

Ⅱ-6. システムインテグレーション(SI) ① 売上・受注等の推移

<SI 構築>

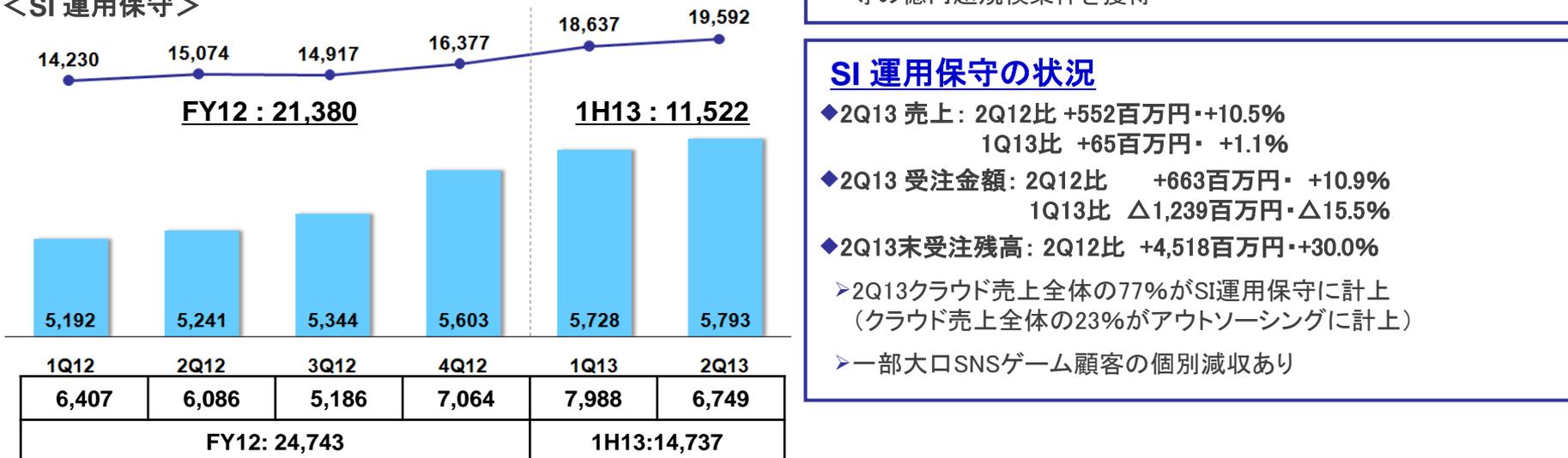


SI 構築等の状況

- ◆2Q13 売上: 2Q12比 +254百万円・+6.4%
1Q13比 +1,223百万円・+41.3%
- ◆2Q13 受注金額: 2Q12比 +810百万円・+17.8%
1Q13比 +262百万円・+5.1%
- ◆2Q13末受注残高: 2Q12末比 +1,460百万円・+30.4%

- ▶企業のSI投資意欲回復に伴い、順調に案件積み上げ中
- ▶中小型規模のネットワークインテグレーション案件に加え、大学キャンパスネットワーク大幅リプレイス、BtoBシステム増強案件等の億円超規模案件を獲得

<SI 運用保守>

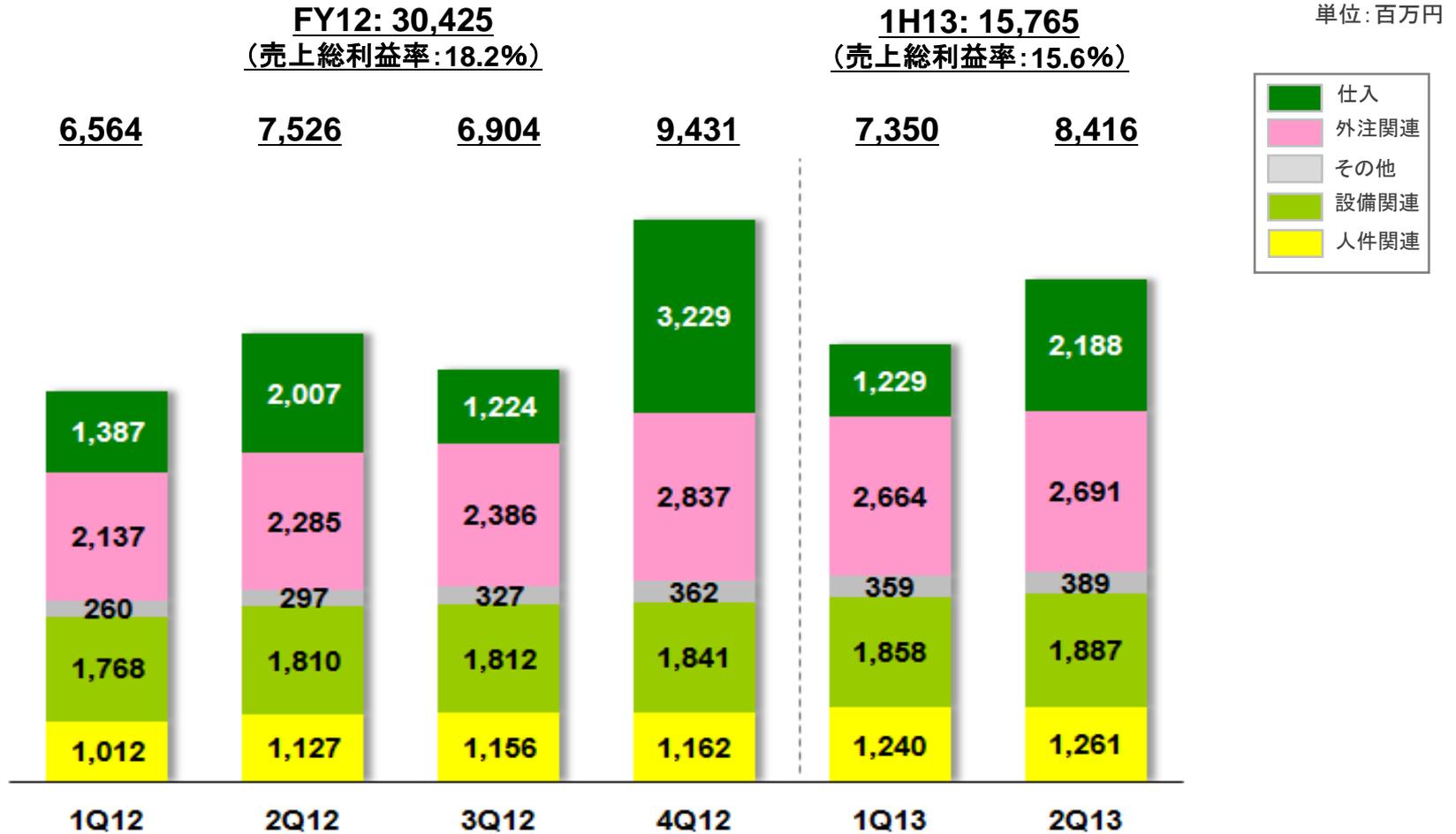


SI 運用保守の状況

- ◆2Q13 売上: 2Q12比 +552百万円・+10.5%
1Q13比 +65百万円・+1.1%
- ◆2Q13 受注金額: 2Q12比 +663百万円・+10.9%
1Q13比 △1,239百万円・△15.5%
- ◆2Q13末受注残高: 2Q12比 +4,518百万円・+30.0%

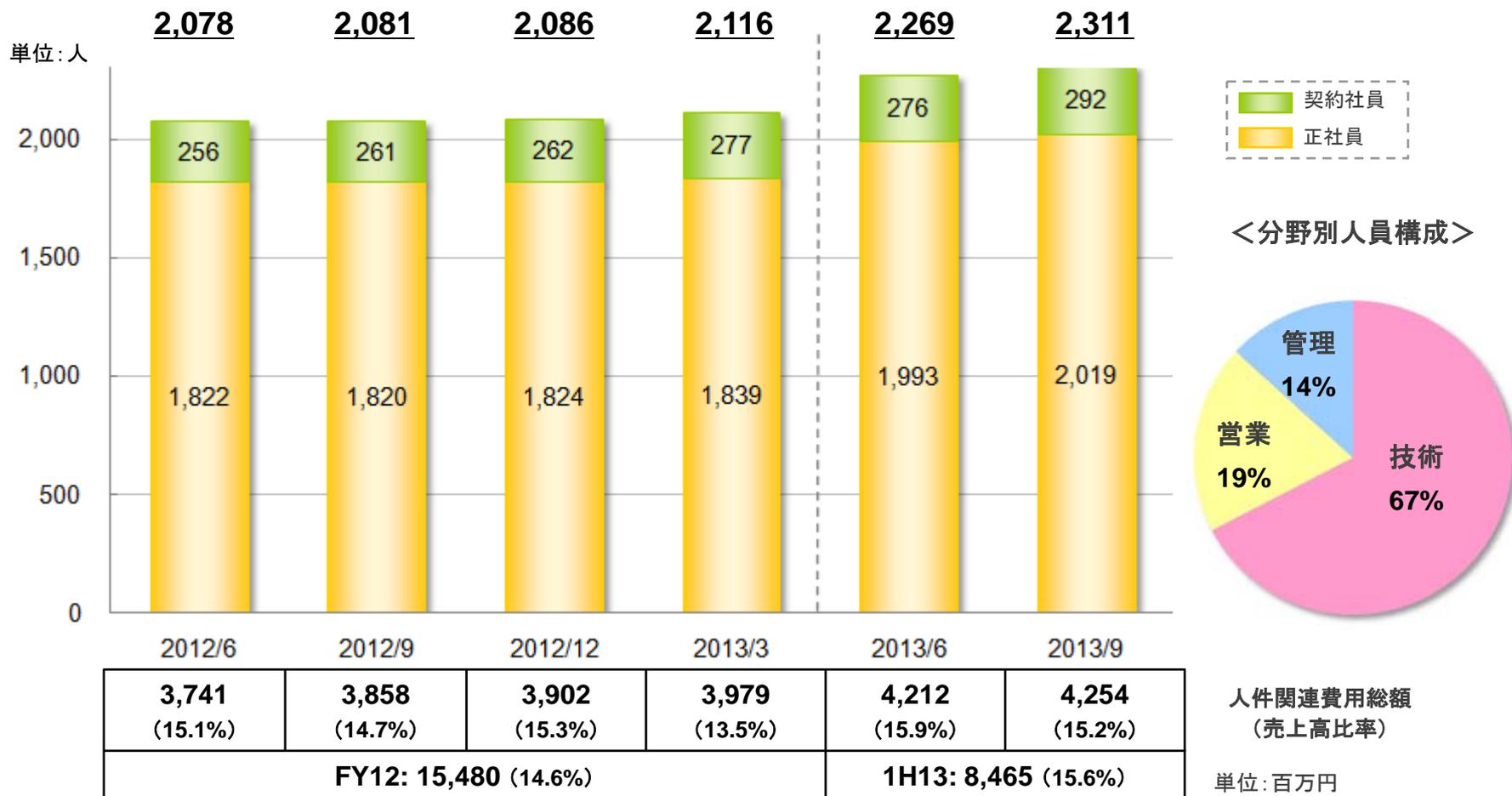
- ▶2Q13クラウド売上全体の77%がSI運用保守に計上
(クラウド売上全体の23%がアウトソーシングに計上)
- ▶一部大口SNSゲーム顧客の個別減収あり

Ⅱ-6. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移



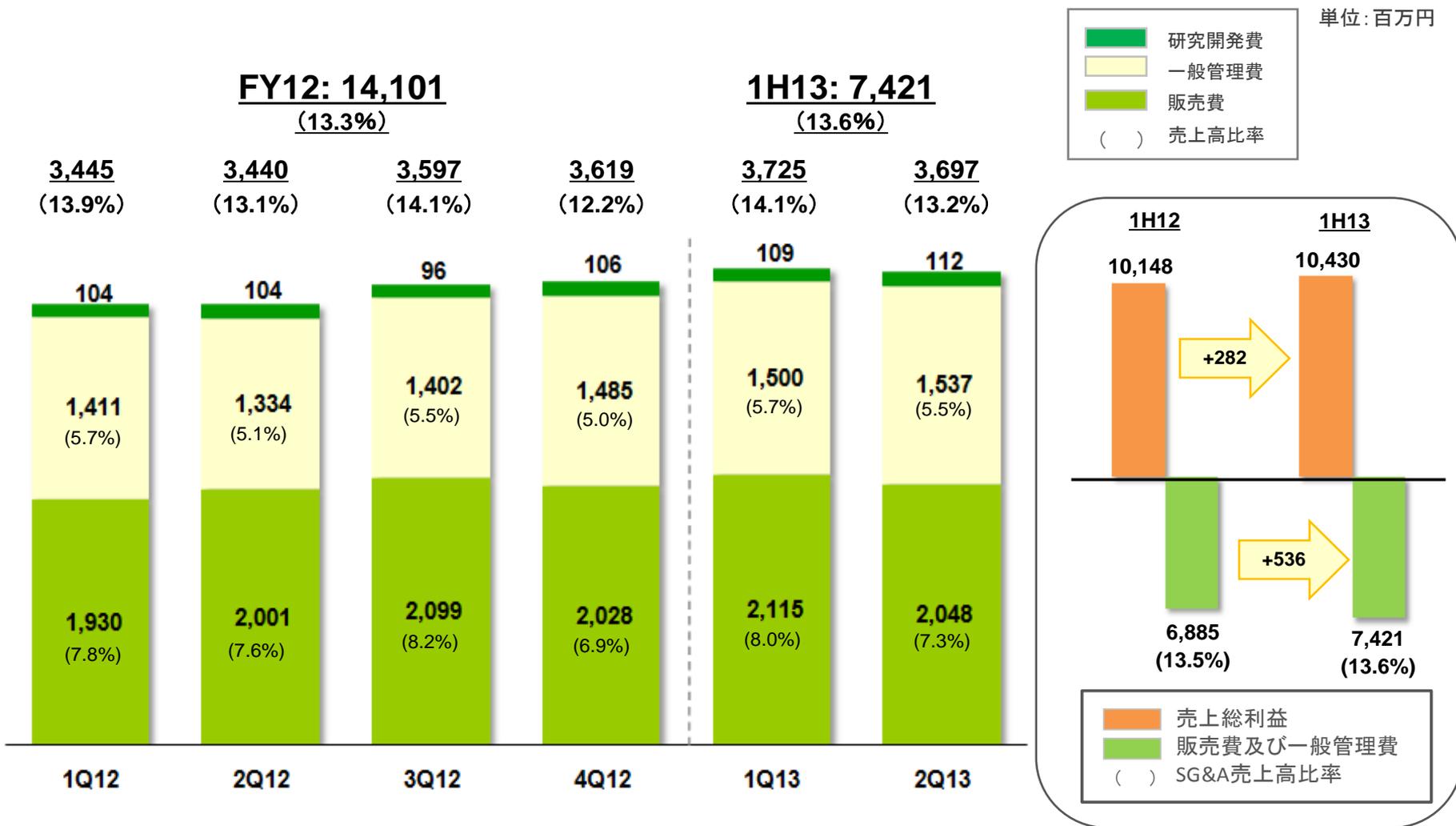
- ◆ 2Q13 SI原価: 2Q12比 +890百万円・+11.8%、1Q13比 +1,066百万円・+14.5%
 - 2Q13末常駐外注人員数: 744名(2Q12末比 +158名、1Q13末比 +61名)
 - 案件数増加による外注関連費用増加及び人員増等による人件関連費用増加

Ⅱ-7. 連結従業員数の推移



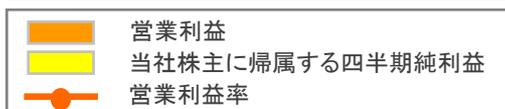
- ◆ 2Q13 総人件関連費用: 2Q12比 +395百万円、1Q13比 +42百万円
- ◆ 2013年4月入社新卒社員数: 136名(2012年4月:75名)
 - 2014年4月も同程度の新卒入社予定
- ◆ FY13計画は250名強の人員増加にて予算化

Ⅱ-8. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移

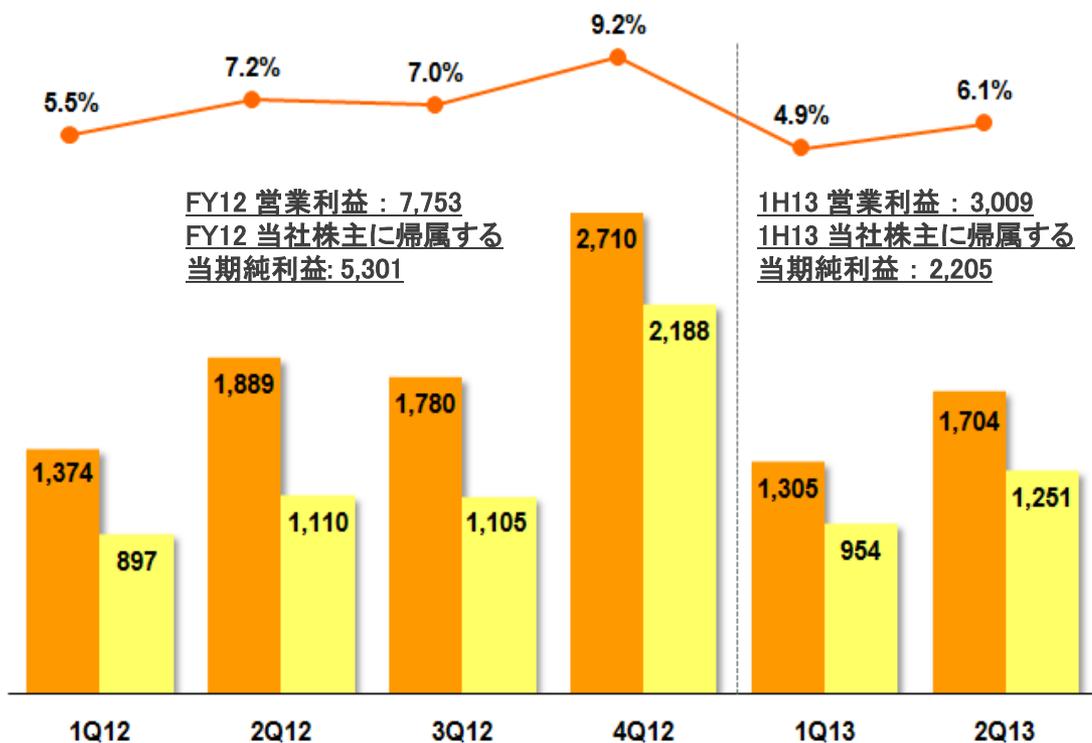


- ◆ 2Q13 SG&A: 2Q12比 +257百万円、1Q13比 △28百万円、売上高比率13.2%と2Q12比 0.1ポイント減少
 - 2Q12比: 人件関連費用 +約100百万円、販売手数料 +約46百万円、地代家賃等 +約30百万円

Ⅱ-9. 営業利益・当期純利益の推移



単位: 百万円



◆ATM運営事業セグメント利益

単位: 百万円

1Q12	2Q12	3Q12	4Q12	1Q13	2Q13
16	67	81	75	81	160
FY12: 239				1H13: 241	

• 2013年11月8日 現在 設置済ATM台数 698台

◆2Q13 税引前四半期純利益: 1,917百万円

(2Q12比 +114百万円・+6.3%)

▶ 支払利息以外の大きな費用項目なし

▶ その他投資に係る損益172百万円、為替差益47百万円計上

◆2Q13 当社株主に帰属する四半期純利益: 1,251百万円

(2Q12比 +141百万円・+12.7%)

▶ i-revo及びインターネットマルチフィードに係る

持分法投資利益

1Q12	2Q12	3Q12	4Q12	1Q13	2Q13	
363	764	675	1,333	269	804	法人税・住民税・事業税等
152	△27	28	△679	268	△99	法人税等調整額※
33	50	49	36	65	61	持分法投資損益
5	△6	△10	△5	△5	△22	非支配持分に帰属する 四半期純損失(△純利益)

※ 法人税等調整額の△は
法人税・住民税・事業税等のマイナス

Ⅱ-10. 連結バランスシート(サマリー)の状況

(単位:百万円)

	2013年3月末	2013年9月末	前期末比増減
現金及び現金同等物	12,259	25,782	+13,523
売掛金	18,765	16,707	△ 2,058
たな卸資産・前払費用(短期・長期)	5,995	7,757	+1,762
その他投資	3,771	5,180	+1,408
有形固定資産	23,026	23,784	+758
のれん・その他無形固定資産	10,761	10,537	△ 224
資産合計	82,111	97,842	+15,731
買掛金・未払金	11,922	10,368	△ 1,554
未払法人税等	1,670	876	△ 793
銀行借入金(短期・長期)	11,390	10,380	△ 1,010
リース債務(短期・長期)	8,876	8,769	△ 106
負債合計	44,477	40,634	△ 3,843
資本金	16,834	25,497	+8,663
資本剰余金	27,300	35,933	+8,633
欠損金	△ 6,399	△ 4,600	+1,800
その他の包括利益累計額	264	715	+451
当社株主に帰属する資本合計	37,607	57,153	+19,547

当社株主に帰属する資本比率
(株主資本比率):

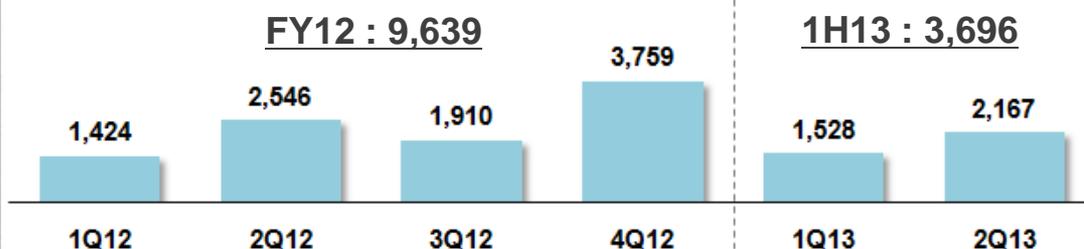
2013年3月末 45.8%

2013年9月末 58.4%

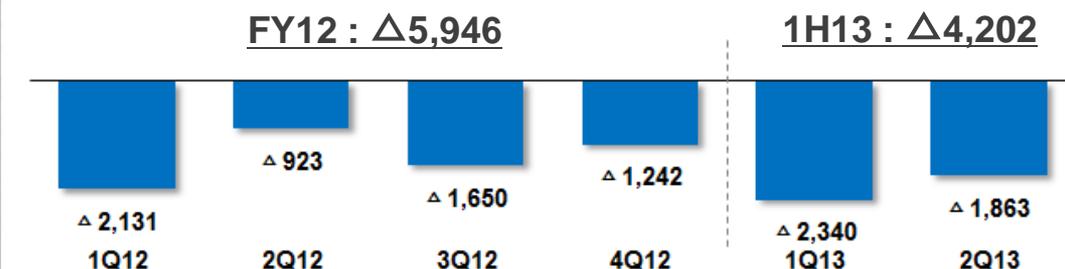
Ⅱ-11. 連結キャッシュ・フローの状況

営業キャッシュ・フロー

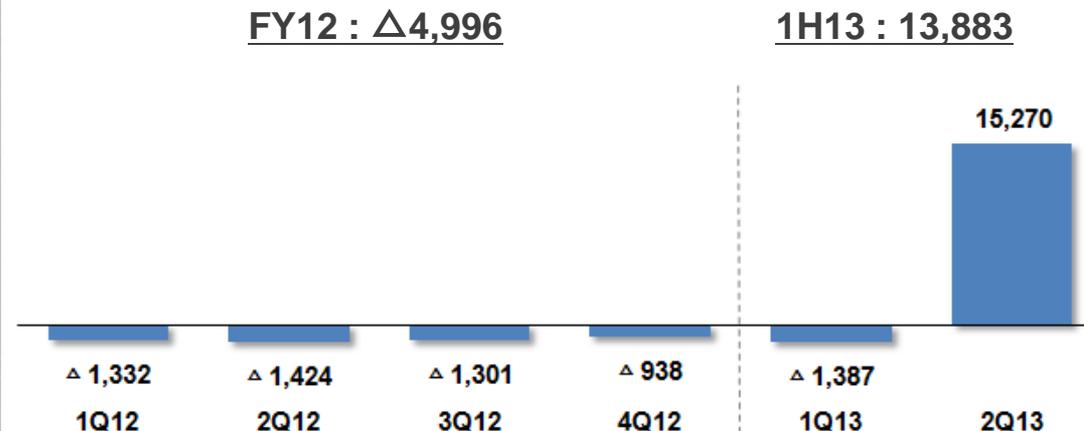
単位: 百万円



投資キャッシュ・フロー



財務キャッシュ・フロー



1H13 営業キャッシュ・フロー

▶ 売掛金の減少	2,136百万円
▶ 減価償却費等	4,238百万円
▶ 買掛金及び未払金の減少	Δ1,513百万円
▶ 前払費用の増加	Δ933百万円
等	

◆ 1H12比の営業キャッシュ・フロー増減主要因

• 売掛金の減少の影響	+1,959百万円
• 買掛金及び未払金の減少の影響	Δ1,814百万円
• 未払費用、その他流動・固定負債の減少の影響	Δ764百万円

1H13 投資キャッシュ・フロー

▶ 有形固定資産の取得	Δ2,784百万円
▶ その他投資の取得	Δ1,083百万円
等	

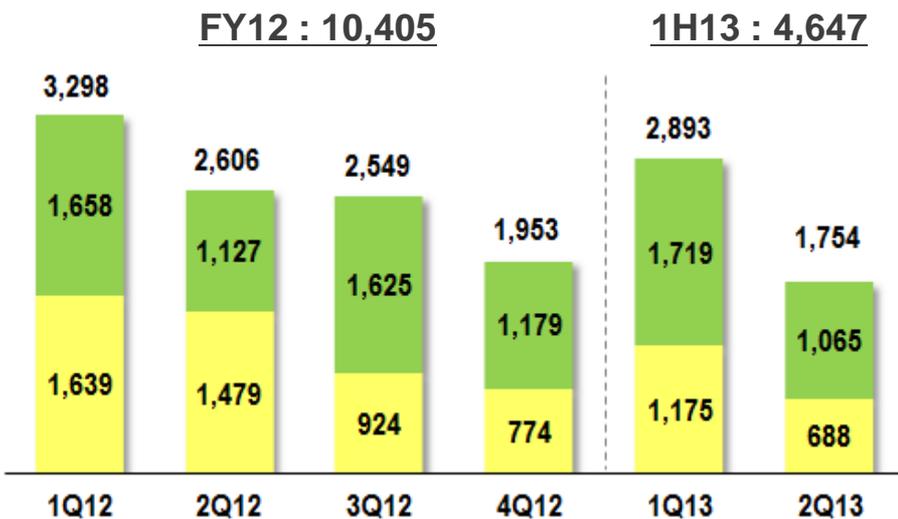
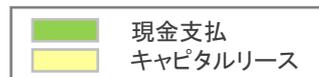
1H13 財務キャッシュ・フロー

▶ 株式の発行による収入(新株発行費控除後)	17,271百万円
▶ キャピタル・リース債務の元本返済	Δ1,972百万円
▶ 借入金(短期及び長期)の純減	Δ1,010百万円
等	

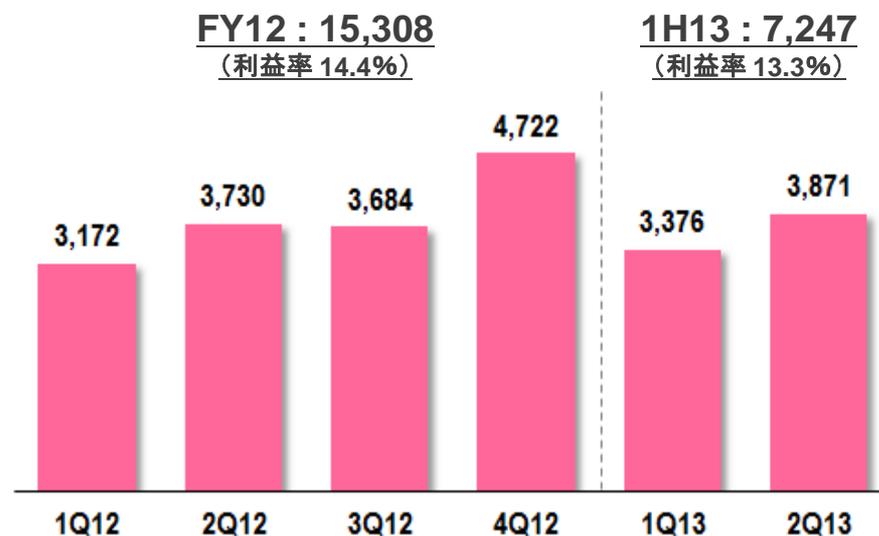
Ⅱ-12. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

単位:百万円

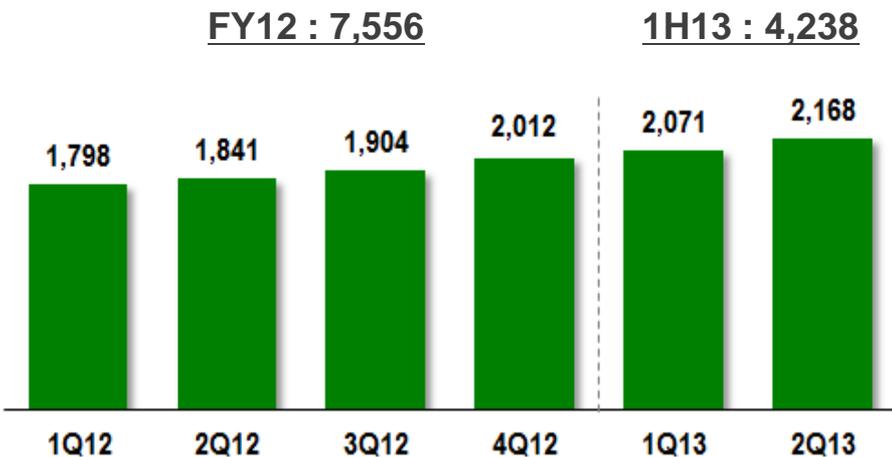
CAPEX(キャピタルリースを含む)



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)



減価償却費等

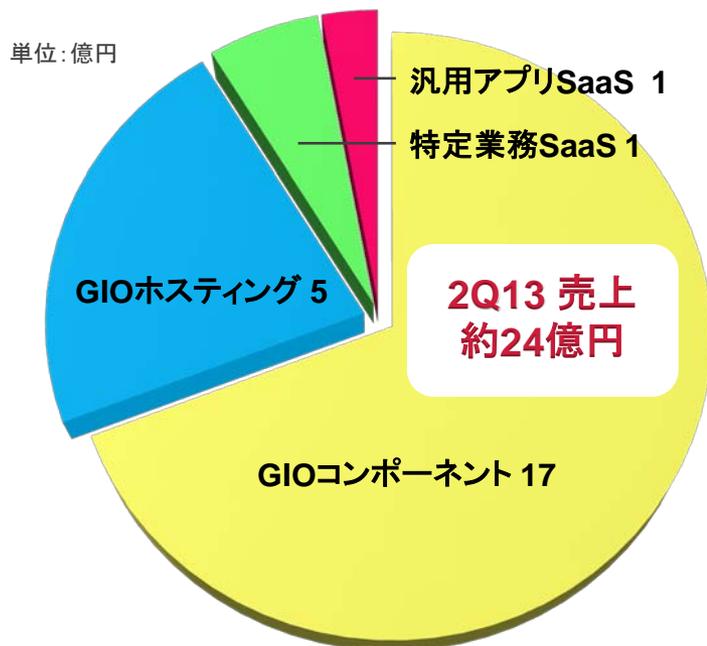


Ⅲ-1. クラウド事業の進展

■クラウド売上

単位: 億円	FY11	FY12	FY13
上期 (9月度)	12 (2.5)	26 (4.9)	47 (8.3)
下期 (3月度)	19 (3.7)	36 (6.6)	
通期	31	62	目標100超

※ FY11及びFY12クラウド売上に特定業務SaaS売上は含まず
 ※ 2Q13クラウド売上の約77%はSI運用、約23%はアウトソーシング計上
 ※ (かっこ)内の数字は、それぞれ9月及び3月の月次売上



■ 特定業務SaaS (FX及びIIJ GIO POS)
 ■ 汎用アプリSaaS (サイボウズガルーンSaaS他)

■顧客基盤の継続拡大

■ 月額50万円超
 ■ 月額100万円超



➤ 企業向けクラウドサービスラインアップ順次拡充

社内システム向けクラウド採用の傾向増加

VMware(2012/8)、SAP BASIS(2013/7)、IBM i (AS400) (2013/9)等のサービスにて、一般事業法人のクラウド採用を継続積極推進

・大口SNS利用売上比率:

25%(2Q13)、27%(1Q13)、32%(4Q12)、40%(4Q11)

➤ VWシリーズ導入企業増加中

損保業界初のグループ共通基盤(損害保険ジャパン)、

ディーラー向け共通会計システム(プジョー・シトロエン・ジャポン)、

人事・給与システム(廣済堂)、SAPシステム(アンリツ)

他

◆ 2年連続国内パブリッククラウド市場でトップシェア評価獲得*

◆ ベストブランド及びベストサービス受賞**

◆ IIJ GIOパートナー 400社強 (3Q12末 300社超)

*富士キメラ総研「Business Technology 2013年8月号」
 **日経BP「第7回クラウドランキング」

Ⅲ-2. 2014年3月期連結業績見通し（変更なし:2013年5月15日発表）

- ▶ 季節要因にて、売上高は下半期に大きく計上される一方、固定的な費用は期初から増加する傾向あり
- ▶ 積極的な事業展開により、期初から固定的な費用の増加等がある一方、システム構築売上は上期では大きくは計上されず。また、ネットワークサービス及びシステム運用保守売上にSNSゲーム及び通信事業者等の一部の大口顧客からの個別の減収影響等があり、営業利益水準は前年同期比低下
- ▶ 下半期に向けてシステム構築の案件及び受注の状況は好調、また、ネットワークサービス及びシステム運用保守との恒常的売上は、継続増加し利益増加に順次寄与していくことを勘案し、2013年5月15日発表の2014年3月期連結業績見通しに変更なし

(単位:億円)

	FY2013 見通し (13/4~14/3)	FY2012 実績 (12/4~13/3)	前期比増減	
営業収益 (売上高)	1,170.0	1,062.5	+107.5	+10.1%
営業利益	94.0	77.5	+16.5	+21.2%
税引前 当期純利益	90.0	77.6	+12.4	+16.0%
当社株主に帰属 する当期純利益	60.0	53.0	+7.0	+13.2%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	135.42円 ^{※1}	130.76円 ^{※2}	+4.66円	+3.6%
一株当たり 配当金	22.00円 (年間)	18.75円 ^{※2} (年間)	+3.25円	+17.3%

※1

2013年7月及び8月に実施した公募増資及び第三者割当増資にて発行済み株式総数が当該増資前から5,400,000株増加したことにより、2013年5月15日発表の148.01円より変更しております。

※2

2012年10月1日付で当社普通株式1株を200株に分割しております。当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正をした「一株当たり当社株主に帰属する当期純利益」と「一株当たり配当金」を掲載しております。

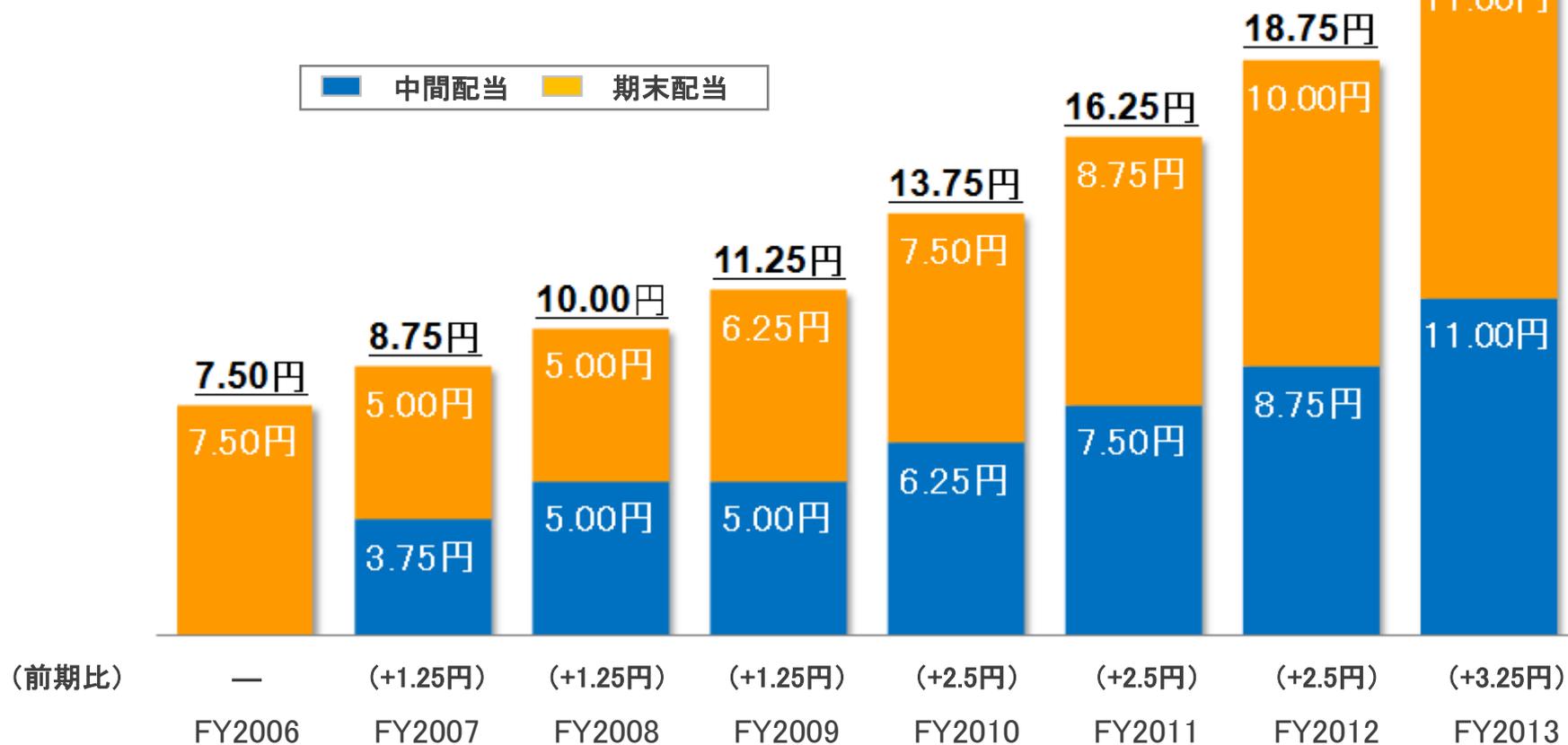
Ⅲ-3. 配当予想 (変更なし:2013年5月15日発表)

2012年10月1日付で当社普通株式1株を200株に分割しております。
当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正をした「一株当たり配当金」を掲載しております。

2013年7月及び8月に実施した公募増資及び第三者割当増資により
発行済み株式総数が当該増資前から5,400,000株増加しておりますが
一株当たり配当予想につきましては変更していません。

発行済み株式総数: 46,697,800株 (2013年11月8日現在)

22.00円
(見通し)



※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの利用が想定よりも進展しないまたは縮小することによる設備投資規模に対する収益性の悪化、
- 3) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 4) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 5) リソース不足に起因する事業規模拡大の機会の逸失、
- 6) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 7) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (経営企画部)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 URL: <http://www.iij.ad.jp/ir> E-Mail: ir@iij.ad.jp



Internet Initiative Japan